

「三菱史料館論集」 目次 (1-21号)

【創刊号】 2000年2月1日発行

創刊の辞	伊夫伎一雄…………… 1
論文	
初期三菱における外国人について	鈴木良隆…………… 7
進出期三菱筑豊石炭礦業の動向	畠山秀樹…………… 39
昭和恐慌期の三菱鋁業——生産の合理化とコスト低下——	武田晴人…………… 95
三菱財閥本社の財務構造——1925～1944年度決算書の分析——	
	岡崎哲二……………161
史料紹介	
『三菱社史 初代社長時代 一海運誌一』	武田晴人……………265
口絵	
当研究所の外観・施設	

【第2号】 2001年2月1日発行

論文	
創業期の三菱造船所	武田晴人…………… 1
明治期三菱の有価証券投資—合資会社成立以後を中心として—	中村尚史…………… 69
岩崎家の資産形成と奥帳場—三菱合資会社設立前後を中心—	
	関口かをり……………135
初期三菱の人びと—廻漕業時代の三菱従業員像—	鈴木良隆……………207
史料紹介	
北仏 Roubaix の史料館所蔵「フランス三菱会社」史料	原 輝史……………241
口絵	
岩崎彌太郎の胸像, 書, 母宛書簡	

【第3号】 2002年2月1日発行

論文	
三菱銀行の支店展開と資金循環—1928～1942年	岡崎哲二…………… 1
海運保護政策と三菱	粕谷 誠…………… 31
初期三菱における組織と経営	関口かをり…………… 59

三菱の「使用人」明治 19～大正 6 年	鈴木良隆……………111
研究ノート	
長崎造船所と荘田平五郎の改革	武田晴人……………155
史料紹介	
『三菱社史 二代社長時代』	市川大祐……………207
口絵	
岩崎彌之助の肖像, 高輪邸, 書簡	

【第 4 号】 2003 年 2 月 1 日発行

論文	
1920 年代における三菱銀行の収益構造	岡崎哲二…………… 1
三菱社の土地投資	
—新潟県中蒲原郡・西蒲原郡・南蒲原郡・北蒲原郡における土地買入と経営	森田貴子…………… 19
三菱高島炭坑・吉岡鉱山の月次事業成績報告における物量計算と貨幣会計	
—1894 年～1906 年	山口不二夫…………… 73
創業期の三菱合資神戸支店 —三菱商事の源流に関する一考察—	畠山秀樹……………117
三菱の海運経営と北海道航路の展開 —船舶運用の検討を通じて—	市川大祐……………179
史料紹介	
『三菱合資会社社史 三代社長時代史 未完略稿』	鈴木良隆……………231
口絵	
岩崎久彌の肖像、旧岩崎家茅町本邸、書簡	

【第 5 号】 2004 年 2 月 1 日発行

論文	
三菱の技術者 明治 19～40 年	鈴木良隆…………… 1
長崎造船所の原価計算生成史序説	豊島義一…………… 41
事業部制採用と独立採算制度	武田晴人…………… 99
昭和金融恐慌と三菱銀行—日次財務データから見た金融恐慌—	岡崎哲二…………… 133
研究ノート	
三菱高島炭坑における月次概算表—1881～1893 年	山口不二夫……………155
史料紹介	

高島炭坑長崎事務所「事務日誌」	大石直樹……………173
『岩崎東山先生傳記』	曾我部 健…………… 193

口絵

岩崎小彌太の肖像、岩崎小彌太別邸 陽和洞、書簡

【第6号】 2005年3月20日発行

論文

産業革命期の三菱合資会社銀行部	武田晴人…………… 1
初期三菱の高島炭坑経営	大石直樹…………… 53
三菱の技術者（続） 明治41～大正6年	鈴木良隆……………101
戦前期三菱財閥の内部労働市場	岡崎哲二……………133

研究ノート

尾去澤・大葛・細地鉦山における鉦業会社の会計——1880～1886年——	山口不二夫……………165
--------------------------------------	---------------

史料紹介

『美福院手記纂要』	曾我部 健・山田尚子・坪根明子……………201
-----------	-------------------------

口絵

岩崎彌太郎の生家、星神社、美和の信条七ヶ条

【第7号】 2006年3月20日発行

論文

三菱合資会社の有価証券ポートフォリオ管理と投資収益率	岡崎哲二…………… 1
産業革命期における三菱合資銀行部本店の営業実態	
—『三菱合資会社銀行部総勘定元帳』の検討—	武田晴人…………… 19
長崎造船所における新船建造事業の確立	大石直樹…………… 87
三菱合資開業後の高島炭坑	畠山秀樹……………151

研究ノート

三菱の鉄鋼業への進出—三菱製鉄株式会社兼二浦製鉄所を中心に	金 承美……………239
-------------------------------	--------------

史料紹介

『岩崎彌太郎書簡』	山田尚子・坪根明子・曾我部 健……………273
-----------	-------------------------

口絵

岩崎彌之助の米国留学、岩崎彌太郎書簡

【第8号】 2007年3月20日発行

論文

- 三菱の銀行員 明治18～大正8年 鈴木良隆…………… 1
1910年代における三菱合資会社銀行部
—『三菱合資会社銀行部総勘定元帳』の検討(2)— 武田晴人…………… 31
「事業部制」導入前の三菱合資会社における資金管理 日向祥子……………113
戦時期における三菱財閥本社の有価証券
ポートフォリオ管理と投資収益率—1935～44年度 岡崎哲二……………169
旭硝子の合併戦略 一戦時期の分析— 加藤健太……………189

研究ノート

- 三菱商会 1873年の廻漕会計表と運賃勘定 山口不二夫……………239
高島炭坑のデータに関する若干の覚書 畠山秀樹……………265
三菱製鉄株式会社の経営 一兼二浦製鉄所を中心に— 金 承美……………287

史料紹介

- 三菱の『年報』と『月報』 坪根明子・針山和佳菜・曾我部健……………323

口絵

端島、年報と月報

【第9号】 2008年3月20日発行

論文

- 本社の人びとと本社機能
—明治41年～大正8年の三菱合資会社— 鈴木良隆…………… 1
三菱と共同運輸会社の競争過程
—日本郵船会社の設立をめぐる— 大石直樹…………… 31
1900年以前における三菱合資会社の九州地域管理 日向祥子…………… 85
三菱合資会社設立後の鯉田炭坑 畠山秀樹……………191
1910年代における三菱銀行部本支店の貸出業務 武田晴人……………273
第二次世界大戦期における三菱重工業の航空機生産と部品供給 岡崎哲二……………321
戦時期三菱財閥と査業委員会—企業買収とその審議— 加藤健太……………349

史料紹介

- 『三菱1874年の各船舶の収支勘定書』 山口不二夫……………403
『例規大全』—明治19年～大正10年の規則・内規集— 曾我部 健……………427
『綱本』と『社誌綱本附録 社業統計輯覧』 坪根明子・針山和佳菜……………451

口絵

三菱合資会社本社・銀行部・例規大全・綱本

【第10号】 2009年3月20日発行

論文

- 三菱財閥史研究の10年 武田晴人…………… 1
- 三菱における東京の土地投資と不動産経営：1870～1905年 鷺崎俊太郎…………… 25
- 明治期における三菱合資会社「売炭取扱順序」の変遷とその実体的含意
日向祥子…………… 71
- 戦時期における三菱財閥本社の資本取引：内部資本市場と外部資本市場
岡崎哲二……………115
- 「三菱化成工業」の成立と解体—総力戦と戦後改革—
加藤健太……………129

研究ノート

- 三菱合資会社設立後の筑豊炭販売 畠山秀樹……………159
- 昭和初頭における三菱電機の経営実態 藤田誠久……………197

史料紹介

- 『大記録』 坪根明子・針山和佳菜……………221

口絵

三菱社『社費勘定証書』・『大記録』

【第11号】 2010年3月20日発行

論文

- 戦前期の三菱財閥における人的資本形成 職員の昇進・昇給データの分析
岡崎哲二…………… 1
- 郵便汽船三菱会社と共同運輸会社の「競争」実態について
関口かをり・武田晴人…………… 13
- 明治後期三菱合資会社における阪神支店の機能実態 日向祥子…………… 49
- 大正製糖の経営破綻と利害関係者の選択—三菱商事と社債権者—
加藤健太…………… 81
- 三菱における航空機事業と三菱重工業の設立 大石直樹……………103
- 1930年代の三菱財閥における経営組織—理事会・社長室会の検討を中心に—
石井里枝……………127

研究ノート

- 加藤高明と岩崎家—駐英公使時代を中心に— 奈良岡聰智……………183

三菱商事在オーストラリア支店の活動について—羊毛取引を中心に—	市川大祐……………215
---------------------------------	--------------

史料紹介

三菱の『社報』	重松真一・針山和佳菜……………239
---------	--------------------

口絵

「家屋新築落成届」・『社報』

【第12号】 2011年3月20日発行

論文

寡占形成期における三菱電機の経営実態	藤田誠久…………… 1
産業革命期の尾去沢鉦山	武田晴人…………… 23
三菱合資会社漢口店舗の事業展開	畠山秀樹…………… 61
戦間期三菱商事の機械取引—数量的推移からの接近—	加藤健太……………105
両大戦間期北海道における炭鉱労働者の雇用状況	
—三菱鉱業美唄・大夕張両鉱業所の事例を中心に—	北澤 満……………127
三菱財閥における株式公開と株主総会運営—三菱重工業の事例を中心として—	
	石井里枝……………157
太平洋戦争期における三菱銀行の支店展開と資金循環	岡崎哲二……………183

研究ノート

戦間期三菱商事の取引制度	大石直樹……………205
--------------	--------------

史料紹介

三菱倶楽部・三菱養和会の会報—『部報』, 『菱華』, 『養和会誌』—	
	重松真一・針山和佳菜……………221

口絵

「外国人雇入免状」ほか

【第13号】 2012年3月20日発行

論文

産業革命期の荒川鉦山	武田晴人…………… 1
三菱合資会社における「自保険」	神谷久覚…………… 39
経営者, 社外取締役と大株主は本当は何をしていたか?	
—東京海上・大正海上の企業統治と三菱・三井—	岡崎哲二…………… 67
三菱鉱業の技術系職員・現場係員の人的資源形成	市原 博…………… 85
三菱電機と三菱商事—財閥内取引のケース・スタディー	加藤健太……………111

戦時期における三菱電機の経営実態	藤田誠久……………	131
研究ノート		
史料「取引勘定書類」について		
—既発表の拙稿にかかる問題提起とともに—	日向祥子……………	159
史料紹介		
「復命書」—大正期三菱合資会社の監査報告書—	重松真一・針山和佳菜……………	193
口絵		
岩崎彌太郎像, 「大熊氏広書簡」ほか		

【第14号】 2013年3月20日発行

論文		
三菱商事の成長と店舗間取引ネットワーク：1922～28年度	岡崎哲二……………	1
産業革命期の槇峰鉦山	武田晴人……………	21
三菱内燃機の成立と展開		
—内燃機製造の設立をめぐる経緯を中心に—	藤田誠久……………	55
戦前期三菱商事の組織機構	大石直樹……………	77
1920年代における東京海上火災保険の保険経営	神谷久覚……………	91
日魯漁業向け融資をめぐる交渉—利害関係者間の対立と妥協—	加藤健太……………	115
史料紹介		
連合軍総司令部に対する株式会社三菱本社報告書		
—『AG319.1 (22 Oct. 45) ESS IE に対する報告書控』—		
	坪根明子……………	139
口絵		
「三菱会社規則」ほか		

【第15号】 2014年3月20日発行

論文		
三菱における航空機事業への専業と経営実態		
—三菱航空機株式会社時代を中心に—	藤田誠久……………	1
産業革命期の面谷鉦山	武田晴人……………	25
東京海上火災保険の資産運用 —1900～1929年—	神谷久覚……………	49
三菱商事の鮭鱒缶詰取引とロンドン支店		
—企業間関係と“ハブ拠点”の機能—	加藤健太……………	79
第一次世界大戦後慢性不況期日本企業の経営戦略・経営行動：		

旭硝子株式会社を事例に	兒玉州平……………101
両大戦間期における三菱の石炭販売	
―「社炭元扱権返還」をめぐって―	北澤 満……………129
三菱商事における店舗ネットワークの構造と機能：	
1928～36年度	岡崎哲二……………155
研究ノート	
資料課評議員会の活動と三菱財閥の組織	石井里枝……………173
史料紹介	
『内規大全』	坪根明子……………189
口絵	
「長崎造船局小菅全図」ほか	
【第16号】 2015年3月20日発行	
論文	
産業革命期の吉岡鉦山	武田晴人…………… 1
郵便汽船三菱会社の北海道進出と北海道市場	中西 聡…………… 27
三菱合資会社石炭販売代理店に関する一考察	
―愛知県半田・東海石炭商會を事例として―	北澤 満…………… 53
戦前期の三菱商事と三井物産：売上高成長の比較分析	岡崎哲二…………… 77
戦前期三菱商事の人事制度と海外支店のマネジメント	大石直樹……………101
戦時期における三菱の航空機事業	
―1935年から1940年を中心に―	藤田誠久……………127
1930年代なかば華北における企業買収	
―旭硝子株式会社を事例として―	兒玉州平……………143
研究ノート	
明治期東京の不動産賃貸経営における三菱の役割と意義	
―三井との比較において―	鷺崎俊太郎……………163
郵便汽船三菱会社の高級船員と三菱商船学校	太田仙一……………173
両大戦間期の三菱における経済資料の蒐集と調査	
―資料課における蒐集資料の検討を通じて―	石井里枝……………191
史料紹介	
新収『岩崎彌太郎書簡』	伊藤由美子……………203
口絵	
旧岩崎家末広別邸ほか	

【第17号】 2016年3月20日発行

論文

- 三菱財閥における付加価値の分配と人的資本の役割 岡崎哲二…………… 1
- 郵便汽船三菱会社の組織形成
—「調役」機能とその要員に着目して— 太田仙一…………… 11
- 戦前期三菱銀行の資金循環 粕谷 誠…………… 35

研究ノート

- 創業時代から第一次発展期における麒麟麦酒株式会社の経営展開 石井里枝…………… 51
- 明治後期における三菱合資会社の不動産事業 鷺崎俊太郎…………… 81
- 戦前期三菱商事における組織改革
—未完の改革構想とその論理— 大石直樹…………… 99

史料紹介

- 1884～1899年「三菱造船所往來翰」 小野寺香月……………123
- 明治期三菱の官省関係文書
—『官省府県御達並願伺届控 明治27年』を事例として— 坪根明子……………147

口絵

「故廣曜院殿御遺物 洋酒空瓶壺個」ほか

【第18号】 2017年3月20日発行

講演録

- 三菱史料館開館20周年記念講演会 特別講演
三菱史研究の20年
——アーカイブが拓いた地平—— 武田晴人…………… 1

論文

- 郵便汽船三菱会社の支社機能とその要員 太田仙一…………… 33
- 明治前期三菱における経営幹部の育成と意思決定
—山脇正勝を例に— 小野寺香月…………… 53
- 戦前期三菱商事の商品取引におけるリスクとリターン 岡崎哲二…………… 79
- 戦前期三菱銀行の職員養成と銀行合同 粕谷 誠…………… 89
- 三菱石油の設立交渉と意思決定プロセス 大石直樹……………109

史料紹介

岩崎彌太郎「征西雜録」

伊藤由美子……………133

口絵

岩崎彌太郎「征西雜録」・「往来手形」

【第 19 号】 2018 年 3 月 20 日発行

論文

戦前期三菱銀行の外国為替業務	粕谷 誠…………… 1
台湾出兵と三菱一受託官船運用体制の構築—	水上たかね…………… 15
郵便汽船三菱会社における教育事業の展開	
—三菱商業学校の運営を通して—	太田仙一…………… 45
三菱・商事部門で働いた人びと 1886(明治19)～1918(大正7)年	
	鈴木良隆…………… 69
木内重四郎と岩崎家	奈良岡聰智…………… 95
戦前期における三菱商事の組織と職員のキャリア形成	
	大島久幸・岡崎哲二……………121
戦前期における三菱商事の海運業務	大島久幸……………137
戦間期三菱神戸造船所における多角化と経営合理化	小野寺香月……………155
戦前期三菱石油における為替差損補填問題と増資交渉	
—合弁事業の“principle of equality”をめぐる—	

大石直樹……………187

史料紹介

1920年代の三菱倉庫の「報告附表」	渡辺 靖……………205
--------------------	--------------

口絵

三菱倉庫江戸橋倉庫・三菱倉庫「報告附表」

【第 20 号】 2019 年 3 月 20 日発行

論文

戦前期三菱商事の収益構造, 1922-1928 年度	岡崎哲二…………… 1
日本における経理組織の発展	
—三菱グループ企業を中心として—	粕谷 誠…………… 13
「郵便汽船」三菱会社の誕生	水上たかね…………… 29
大正期三菱合資会社による工場用地の買収とその帰結	
—福岡県旧遠賀郡黒崎・折尾地区を事例として—	出口雄大…………… 57

三菱財閥による多角化戦略の再検討	
—三菱製鉄兼二浦製鉄所の事例分析—	井上雄介…………… 79
戦前期三菱商事の外国為替業務	大島久幸……………105
三菱財閥本社の統轄機能	
—「統制会社」としての本社の役割—	大石直樹……………119

研究ノート

初期三菱における為替事業の創設と運営	太田仙一……………147
--------------------	--------------

口絵

岩崎彌太郎書簡（岩崎彌之助宛，明治6年4月19日付）

【第21号】 2020年3月20日発行

論文

戦間期における三菱信託の有価証券投資	粕谷 誠…………… 1
郵便汽船三菱会社の外国人雇用	
—東京府史料からみた一側面—	太田仙一…………… 17
「一丁倫敦」の経営史	
—三菱の丸の内地区における初期不動産経営の実態	鈴木智行…………… 29
1920～30年代における三菱銀行の有価証券投資	
—社債投資を中心として—	棚井 仁…………… 69
三菱における航空機技術導入と三菱商事	大島久幸・Alexandre Roy……………91
財閥持株会社の株式ポートフォリオと投資収益率：	
三菱合資会社と三井合名会社の比較分析	岡崎哲二……………105

総目次

『三菱史料館論集』総目次	
創刊号～第20号(2000年～2019年)	……………119

口絵

岩崎彌之助肖像(原撫松)・原撫松より岩崎久彌宛書簡